



TITLE:

2005年度 京都大学 生涯教育学講座 彙報

AUTHOR(S):

CITATION:

2005年度 京都大学 生涯教育学講座 彙報. 京都大学生涯教育学・図書館
情報学研究 2006, 5: 159-161

ISSUE DATE:

2006-03-31

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/43896>

RIGHT:

2005年度 京都大学 生涯教育学講座 彙報

1. 授 業

《大学院》

教 授	前平 泰志	生涯教育学研究Ⅰ・Ⅱ	前／後期
		生涯教育学演習Ⅰ・Ⅱ	前／後期
		比較社会教育論	後期
教 授	川崎 良孝	図書館情報学演習Ⅰ・Ⅱ	前／後期
助教授	渡邊 洋子	生涯教育学研究Ⅰ・Ⅱ	前／後期
		生涯教育学演習Ⅰ・Ⅱ	前／後期
		生涯教育学講読演習Ⅰ	前期
助教授	佐藤 卓巳	図書館情報学演習Ⅰ・Ⅱ	前／後期
		生涯教育学講読演習Ⅱ	後期
講 師	三輪 建二	生涯教育学特論Ⅰ	前期集中
講 師	山口源治郎	図書館情報学特論Ⅰ	前期集中

《学 部》

教 授	前平 泰志	偏見・差別・人権（リレー講義）	前／後期
		同和・人権教育論	前期
		生涯学習概論Ⅱ	後期
		相関教育システム論基礎演習ⅡA	前期
		生涯教育・図書館情報学専門ゼミナールⅠ・Ⅱ	前／後期
教 授	川崎 良孝	図書館資料論	前期
		相関教育システム論基礎演習ⅡB	後期
		生涯教育・図書館情報学専門ゼミナールⅠ・Ⅱ	前／後期
助教授	渡邊 洋子	生涯学習概論Ⅰ	前期
		英語（教育科学）	後期
		相関教育システム論基礎演習ⅡA	前期
		生涯教育・図書館情報学専門ゼミナールⅠ・Ⅱ	前／後期
		メディア文化論	前期
助教授	佐藤 卓巳	教育研究入門Ⅱ（リレー講義）	後期
		相関教育システム論基礎演習ⅡB	後期
		生涯教育・図書館情報学専門ゼミナールⅠ・Ⅱ	前／後期
		社会教育計画論Ⅰ・Ⅱ	前／後期
		生涯教育学・図書館情報学講読演習Ⅱ	後期
講 師	山田 正行	図書館経営論	前期
講 師	西岡 正子	図書館サービス論	前期

講 師	志保田 務	資料組織論	前期
		資料組織論演習Ⅰ・Ⅱ	前／後期
講 師	川崎佳代子	読書と豊かな人間性	前期集中
講 師	柴田 正美	情報メディアの活用	前期集中

2. 活 動

《生涯教育学研究室》

・共同研究プロジェクト

受託研究「中・高年層の『学び』のスタイルに関する総合的研究」(JTB 産学連携)

〈「成人の学習ニーズと学習スタイルに関する調査」結果の分析・考察〉

京都大学シニアキャンパス2005 — 9.27～30 (京都大学 [他]) 参加者36名

・参加／交流

京都大学教育学研究科 第2回国際シンポジウム「大学教育の知の彼方へ」

— 11.6 (京大会館)

東アジア成人教育フォーラム (EAFAE) 第6回総会

— 11.19～23 (法政大学、代々木国立オリンピック記念センター)

・講演会／セミナー

京都生涯学習セミナー — 12.11 (於：龍谷大学大宮学舎)

・特別ゼミ

高益民先生 (北京師範大学比較教育研究中心・副所長) 特別講義

「中国の成人教育 — 歴史と現状 —」 — 6.28 (420号室) 4、5 限目

夏季ゼミ合宿 — 7.20～21 (淡路島町営「東浦サンパーク」) 参加者15名

ポール・スタンディッシュ先生 (シェフィールド大学・教授) 特別講義

“towards an economy of higher education” 〈臨床教育学講座共催〉

“From Adult and Continuing Education to Lifelong Learning”

— 11.1 (420号室) 3、5 限目

・研 究 会

「地域通貨」研究会 (日本社会教育学会プロジェクト研究発表〈6.4～5〉など)

「学びの文化」研究会

S D L研究会：訳書刊行：マルカム・S. ノールズ [著]／渡邊洋子 [監訳]／京都大学 S D L研究会 [訳]『学習者と教育者のための自己主導型学習ガイド — とともに創る学習のすすめ』明石書店

《図書館情報学研究室》

本年は、個人の研究活動を中心に行い、研究室主催の講座等を行わなかった。

3. 個人業績（院生）

【博士後期課程】

金 智鉉（博士後期課程3年）

研究論文：「歴史的流れの中での公共図書館と点字図書館——日本の歴史的背景と図書館の変遷を中心に——」『韓国ビブリア学会誌』16(1), 2005,6, p. 113-132

倉知 典弘（博士後期課程2年）

口頭発表：「京都市勸業政策の展開——伝統産業を中心に」（日本社会教育学会第52回研究大会自由研究報告／千葉大学 9月17日）

猿山 隆子（博士後期課程2年）

口頭発表：「鶴見和子の生活記録の方法に関する一考察」（日本社会教育学会第52回研究大会自由研究報告／千葉大学 9月17日）

安川由貴子（生涯教育学）

口頭発表：「生涯学習における認識論的研究——G. ベイトソンのコミュニケーション論を機軸として——」（日本社会教育学会第52回研究大会自由研究報告／千葉大学 9月17日）

【修士（博士前期）課程】

森田 千幸（博士前期課程）

翻訳：メアリー・リー・バンディ／フレデリック・J. スティロー編、川崎良孝／森田千幸／村上加代子訳『アメリカ図書館界と積極的活動主義：1962-1973年』京都大学図書館情報学研究会発行、日本図書館協会発売、2005年6月、279p

4. 目録（前年度分）

《修士論文》

森田 千幸

「なぜアメリカ公立図書館ではインターネットの導入が進んだのか——情報政策への図書館界の対応——」

（2005年12月現在）